

太田市新田商工会報

題字は武井商工会長

新田・尾島・藪塚本町商工会合併記念 通常総代会・発足祝賀会特集号



藪塚地区 かかし祭り
青年部出品作品
(平成十八年度グランプリ作品)



新田地区 につた花トピア
コスモスとひまわりのお花畑



太田市全域地図



尾島地区 尾島ねぶた祭り
・十三〜十四基のねぶたを
運行

地域のイベント情報

- 8月14日(火)～ 8月15日(水) 尾島ねぶた祭り 尾島地区国道354号沿線
- 9月23日(日)～10月20日(土) 太田市につた花トピア 新田金井地区休耕田
- 9月29日(土)～10月8日(祭日) かかし祭り 藪塚地区三島神社公園周辺

| 目次 | ページ | 目次 | ページ |
|----------------------|-----|-----------------|------|
| 通常総代会の開催 | 2 | 来賓祝辞 | 4～10 |
| 発足祝賀会の開催 武井商工会長挨拶 | 3～4 | 青年部事業 お知らせ 他 | 12 |



通常総代会・発足祝賀会開催される

平成19年5月30日午後4時から、プラザニッタにおいて太田市新田商工会の平成19年度通常総代会並びに発足祝賀会が開催されました。武井商工会長のあいさつにつづいて総代会の議長には株式会社深町食品の深町五男氏が選出されました。議長の明快な議事進行のもと7議案すべて可決承認されました。

可決された議案は以下のとおりです。また前新田町商工会新井会長に感謝状が贈呈されました。総代会には来賓の方4名にまた発足祝賀会では3名の方にご祝辞をいただきました。

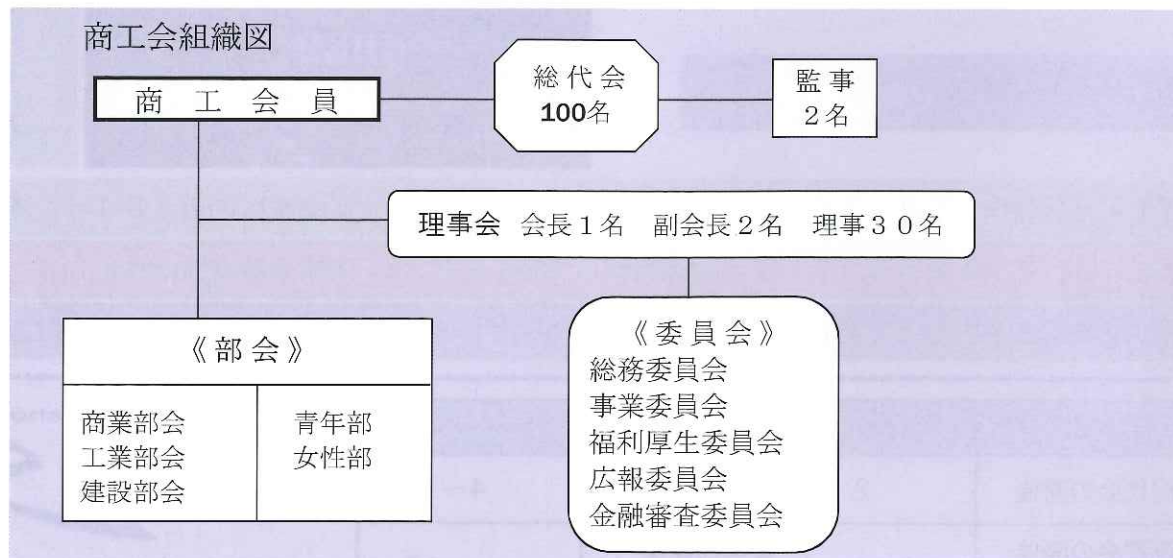
| | | |
|-------|-------------------------------|--|
| 議案第1号 | 平成18年度事業報告書承認について | ○今年度事業計画の重点事業は次のとおり実施します。 1. 経営支援体制の強化 2. 地域振興事業の実施 3. 商工業活性化事業の推進 4. 後継者対策事業の推進 5. 事務委託団体の育成指導 6. 従来事業の強化 |
| 議案第2号 | 平成18年度収入支出決算書承認について 「監査報告」 | |
| 議案第3号 | 定款一部（関連規約含む）改正について | |
| 議案第4号 | 平成19年度事業計画決定について | |
| 議案第5号 | 平成19年度収入支出予算書決定について | |
| 議案第6号 | 任期満了による役員選任について | |
| 議案第7号 | 平成19年度借入限度額の決定について | |



深町議長



新井前会長に感謝状贈呈



太田市新田商工会発足祝賀会 武井商工会長あいさつ



武井 善作 商工会長

商工会法が昭和35年に制定され、それを受けて、藪塚本町、新田町、尾島町商工会がそれぞれ創立されました。この三商工会はそれぞれの地域に密着して、商工会の二大事業であります「経営改善普及事業」と「地域振興事業」を積極的に展開してまいりました。

また、当時の町と連携して地域の商工業振興の一翼を大きく担ってきたと自負致しております。しかしながら、市町村合併の流れの中で三町は平成17年3月に太田市となりました。

商工会と致しましても同一市内で三つの商工会が別々に活動するよりも、一つとなって力を合わせて、この地域の中小企業者とりわけ小規模事業者の指導育成に全力を注ぎたい、という会員及び役職員の強い思いから、本日ここに「太田市新田商工会」として新たな船出をする運びとなりました。

しかし、合併をしたからといって喜んでばかりはいられません。商工会を取り巻く環境は非常に厳しいものがあり、新商工会の船出は前途多難であります。ご存じの通り、商工会は商工会法という単独法により設置された「地域の総合経済団体」とともに「中小企業の指導団体」という二つの性格を併せ持った公益法人であります。

「指導機関としての商工会」は、商工会法によって「営利」を禁じられております。営利禁止は商工会の高い公益性から

も至極当然であります。

また、小規模事業者支援促進法で国・県の補助金は担保され保証されておりますが、補助金である以上当然のごとく自己負担が求められております。それに応えるために支出の削減、会費の値上げ等財源の確保のため種々努力をしてまいりましたし、今後も努力をしてまいります。商工会が今後も、小規模事業者の振興を担い、また指導機関としての役割を担い続けるためにも、市当局並びに市議会の多大なるご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

「地域の総合経済団体としての商工会」としては、新商工会の地区となる、この旧新田郡内の地域の経済発展のために全力を尽くさなければならないと考えております。

さらには、商工会議所との関係を強め、また農協とも連携を強化して、相協力して太田市全体の経済発展のために共に尽力することが肝要であると考えております。

新商工会の使命は、「会員に喜ばれる組織」でなければなりません。新商工会の目標は、「会員に喜ばれる組織」を目指さなければなりません。すなわち、我々役職員は会員のために何をするか、会員のために何ができるか。これを常に考えなければなりません。

会員に喜ばれて、はじめて、新商工会は会員に支持されたこととなります。新商工会の役員の皆様に期待することは、合併の混乱を招かないようにリーダーシップを遺憾なく発揮していただきたいと思っております。そして、新商工会の組織強化のために、組織率向上のために役員が一致団結してその職責を全力で担っていくことが、目指すべき新商工会に近づくことになると確信を致しております。

職員の方には、合併はゴールではなくスタートであることを強く認識していただき、全職員一致団結して職務に当

たらなければなりません。特に合併により会員サービスの低下や小規模事業者への指導業務が低下することの無いように、心してかからなければなりません。

新商工会の使命と目標は、「会員に喜ばれる組織」を目指すことであります。そのために、何を成すべきかと云うことを職員一人一人が深く考え、職務を通じて会員のために積極的に行動しなければなりません。国家公務員が「国民の奉仕者」、地方公務員が「地域住民の奉仕者」であるように、新商工会の職員は「会員の奉仕者」並びに「小規模事業者の奉仕者」となることを、強く期待しております。奉仕の心を持って、会員と接することにより、会員との新たな関係も築けるものと、私は会長として確信しております。

毛利元就の三本の矢の訓えではありませんが、旧三商工会が本当の意味での一つの商工会となるためには、役職員が互いに力を合わせて目指すべき目標に向かって一丸とならなければなりません。

また、毛利元就は三人の息子に『心を同じくして相親しむべし』とも言っています。私たち新商工会の役職員も「心を同じくして」そして、「相親しんで」、「会員のために」「会員に喜ばれる商工会」を作り上げようではありませんか。

最後に、今後とも県・市及び市議会を初めとし、関係各位のご指導ご支援を衷心よりお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



武井会長あいさつ

来賓祝辞

太田市長 清水 聖義 様



こんにちは、19年度の通常総代会にお招きを頂きまして有難うございました。3町の商工会が合併するというのは大変な力を要する話でありまして、本当にまとまって、皆さんがひとつになって新たな歩みを始められました。昨年度の総括をやってまた新年度に向かうということであります。本当にご苦労様でした。

全体の商業関係あるいは工業関係は皆様方がじかに自分の肌で感じている通りでありまして、良い指標ばかりありますが、地域に入ってみればそれほど簡単ではない。現実はずっと厳しいという状況であります。これは、農業に始まって結局弱いもの、弱いものというのはなかなか強くなりきれないという様な所があって、我々としてもどうやって力を尽くすべきか、というのは実は悩ましい所でもあります。太田市は幸いなことに、皆様方もお元気な様子でひと安心していただいております。例えば税に反映されるということを考えれば、税も順調にいただいております。なんとか頑張っていける様なまちになったわけです。是非商工会の皆様方も力を合わせて、その目的どおりこれからも頑張ってもらえば大変有難いと思っております。

一つ住宅の話をして頂きますと、新たな条例の中で白地の所にも住宅が建つようになりました。藪塚はもとより問題はありませんが、新田や尾島であっても是非どうぞという体制を整える事ができました。もちろん道があり側溝がなければ家は建てられませんけれども、環境さえ整えばいつでもどこでもできると、ですから昔は調整区域

にあるから家はだめだという人達も大勢いたんですが、ご親戚の方でもお知り合いの方でも上部にサインを出せば集落さえ形成されていけば住宅ができる状況にあります。そう言った事を背景にして今、太田の住宅着工件数は本当に順調に推移しております。今1,800件位はあります。建築は非常に忙しいということでありまして、皆様方本当に太田に住んでいただけるような環境が出来てきたかと思えます。

今新田地域でやろうとしているのがバイオマス事業です。これは環境省がメインでありますけれども、国土交通省と一体となつてあるいは農林水産省と一体となつて太田の新エネルギーとして国の方で認可の段階に入っています。バイオマスはエネルギーに変えて使いなさいという様な状況の段階にあります。これは旧新田郡で考えて行こうと思っておりますし、是非また皆様にも色々な意味でご協力をお願いしたい。尾島地区にはねふた会館を含めた道の駅を考えています。そこは、商業をやっている皆様メインで農業と一緒に経営してもらえれば良いと思えます。いづれにしても、なかなか厳しい環境でありますけれども、役所も今一生懸命前向きで頑張っておりますので是非一緒になって良いまちを作るためにもご協力頂ければ大変有難く思えます。



来賓の皆様

相澤副会長

来賓祝辞 太田市議会議員 山田 隆史 様



みなさんこんにちは、ただいまご紹介いただきました議長の方山田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。今日は、合併後初の総代会ということで大変おめでとうございます。また盛会裏の中で総代会がとり行なわれたこと心からお祝い申し上げます。

先程来よりお話が出ております。旧3町の商工会が合併いたしました。4月1日から本当に大変なご苦労があったと推察させていただいているところでございます。日頃、みなさま方には地域の商工業の振興につきましては、本当にご尽力いただいております。感謝を申し上げる次第であります。

私ども市議会といたしましても、議会運営を通じて、皆様の活動をこれからも一生懸命支援させていただきたいと思っております。

最後に商工会の益々のご発展と本日ご来席の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。簡単ではありますが、ご挨拶に変えさせていただきます。



総代会来賓祝辞 東部県民局太田行政事務所長 大島 一雄 様



ただいまご紹介をいただきました、東部県民局太田行政事務所長の太田と申します。皆様には日頃より県行政の推進にあたり格別のご理解とご協力を賜り、この席をお借りして厚くお礼申し上げます。

本日、ここに平成19年度太田市新田商工会通常総代会が盛大に開催されますことに対し、一言お祝い申し上げます。皆様のご尽力により、新田・尾島・藪塚本町の3商工会が合併し、本年4月1日に太田市新田商工会が設立されましたこと、誠にめでたうございます。

県内でも、規模の大きな商工会となり、その役割も広域的かつ地域に密着したものとしまして、ますます重要な役割を担うことと存じます。商工会の皆様におかれましては、この合併を機に、広域的な連携により、この地域の経済のさらなる発展に向けて、ご活躍されますことを、ご期待申し上げます。

さて、県では、平成19年度の当初予算において、県内経済の景気回復をすみずみまで行き渡らせるため、「元気すみずみ」型予算を編成し、総額8,080億円（昨年度7,973億円）の増額予算（107億円：1.3%）としました。

産業経済局関係予算は、「強い群馬の経済を築く」ための3つの主要施策を柱とした総額1,654億円（昨年度1,537億円）、対前年比7.6%増（117億円）の積極的な予算となっております。

まず第1の柱は、「元気な産業を創る」ということであります。付加価値の高い製品を

開発し、競争力を高めるため、技術力の向上支援や産学官の連携を通じて「ものづくり産業」の基盤をさらに強化します。また、健康志向の高まりから注目される医療分野との連携を進め、新しい産業の創出・集積を目指します。

第2の柱は、「人を守り、人を創る」ということであります。依然として高い失業率など厳しい雇用環境にある若者や、女性・中高年等に焦点を当てた施策に取り組むとともに、企業の技術継承問題にも引き続き対応し、日本の将来を支える産業人材の育成を図ります。

第3の柱は、「地域の宝を創る」ということであります。地場産業などの地域に根ざした産業や中心商店街、観光資源を「地域の宝」ととらえ、振興していきます。特に、観光分野においては、海外からの誘客に向けた観光PRを積極的に行い、魅力あふれる地域づくりを推進してまいります。

県では、これらの施策により産業振興のため積極的に支援してまいります。企業の皆様には是非ご活用いただきますようお願いいたします。

さて、地域完結型の広域・総合行政を目指して設置した「県民局」も、今年で3年目を迎えました。東部県民局でも、様々な課題に取り組んでまいりました。

現在、太田行政事務所では、広域的観光の取り組みとして、鉄道事業者と管内市町との連携による共同事業・広報活動の実施、安全・安心な地域づくりのための「一軒一灯運動」の推進を行っております。これからも県民の皆様にご満足いただける行政を目指してまいりますので、今後ともご理解ご協力いただけます様、お願いいたします。

結びに、お集まりの皆様のみますますのご発展とご健勝を祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にめでたうございます。

総代会来賓祝辞 国民生活金融公庫前橋支店長 古橋 克彦 様



ただいまご紹介いただきました、国民生活金融公庫前橋支店長古橋と申します。

諸先輩方がいらっしゃる中たいへん僣越ではございますが、ご指名いただきましたので、一言ごあいさつ申し上げます。本日は、太田市新田商工会の総代会がかくも盛大に開催され誠にありがとうございます。

また、私ども国民生活金融公庫の業務につきまして商工会の皆様方には多大なるご支援とご理解をいただいている事につきましてこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

こちらの商工会さんも今年3商工会が合併し一つの商工会になられたようでございますが、実は私ども国民生活金融公庫につきましても、来年新しい組織に統合されることが決まりました。ご承知のとおり、政府によります行政改革の一環から政府系金融機関の改革が決定いたしました。

現在開かれている国会におきまして、私ども国民生活金融公庫・中小企業金融公庫・農林漁業金融公庫・国際協力銀行の4機関が新しい機関に統合することが議論され新しい法律案が可決されました。5月18日付けをもちまして、国会でご承認いただきました。新しい組織の

名前は株式会社日本政策金融公庫という名前に決定いたしました。平成20年の10月に4機関が一つの機関になるわけでありませう。

私ども公庫の融資制度につきましては、マル経融資を含めまして商工会あるいは商工会議所の皆様方からのご支援ですべて新機関に移行していただくことが、決まっています。そういった面では本当に有り難うございました。

これから1年半弱の期間ならびに新機関になりましても私どもの融資制度はいつでも中小企業の皆様方のためのものという受けとめです。ぜひともご利用いただきまして宜しくお願いたします。

最後になりましたが、太田市新田商工会の益々のご発展と本日ご参会の皆様方のご健勝をご祈念申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、お祝いのごあいさつといたします。



小暮副会長



総代会風景

発足祝賀会来賓祝辞 群馬県商工会連合会長 久米 斐川 様



ただいまご紹介いただきました群馬県商工会連合会長の久米斐川でございます。商工会を生み育てた近藤英一郎先生44年間ご苦労いただいたわけですが、その後を引き受けまして昨年の総会で選任され6月1日付で着任をしたところでもあります。新参者であります皆様方の力強いご支援とご指導をお願いしたいと冒頭をお願いしておきます。

本日は新田・尾島・藪塚本町三商工会が新しく太田市新田商工会として力強く出発されたことを心からお慶び申し上げます。三商工会の役員皆様方のこの合併に向かっての熱情・ご努力に心から敬意を表するしだいです。

私は今商工会を取り巻く課題を三つあげています。それは組織力の低下、財政力の問題、そして商工会・商工会議所のあり方です。先ず群馬県下でも全国連でも若手後継者の問題であるとか経済力の弱化的問題等で会員数が減り続けています。全国で130万人いた会員が現在は100万人を少し割っています。群馬県でも同じような状況です。組織強化が第一の課題です。

財政力の問題ですが、補助金体系が変わり国の補助金が県の一般財源に入るので、組長さんの中小企業政策に対する熱情と県の財政力により大きな格差が出ています。自主財源を含めた財政基盤の強化が大きな課題です。昔から「東高西低」と言われて、県の東部は財政力が豊かで西部は低い状態ですが、本日の総代会資料を見させていただき、すばらしい

財力の基で新しい出発ができることに感銘を受けました。

もう一つの問題は商工会と商工会議所の並存地区ですが、市町村合併の進展により17箇所になりました。県内市町村数の40数パーセントの割合になり、全国も同じくらいの数字です。一行政地区一商工団体という風も吹いておることも事実で、商工会が解散し商工会議所に吸収合併されることは、地域経済や地域活性化にとって由々しき問題です。商工会と会議所が連携強化し、地域経済の活性化と中小企業の経営支援の大目的に向かってお互いに切磋琢磨していくことが私の考えです。

全国商工会連合会と日本商工会議所が平成17年度からこの問題について討議しており、両団体とも自主的に設立された組織なので商工会では商工会議所との統合を希望するところは全国でもありません。両団体の合併や法整備は慎重にすべきであるというのが、話し合いの結論です。昭和35年に商工会法が制定され国から補助金をいただいてきましたが、現在は県の一般財源に入るので、これからの商工会は地域に愛される、会員から信頼される商工会になるよう頑張ってください。三つの課題を解決することにつながります。

組織力・財政力・事務局体制の強化につながる商工会合併は、群馬県連でも推進しており、時代を先取りして三商工会が大英断されたことは感銘の極みであり敬意を表します。武井会長を中核にしまして先程力強いお話があったとおり、地域の核となる商工会が永遠に続くように、三商工会が一致団結しすばらしい太田市新田商工会がますますご発展することを心よりお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

発足祝賀会来賓祝辞 太田商工会議所会頭 荻原 榮一 様



皆さんこんばんは。ただいまご紹介を賜りました太田商工会議所の荻原でございます。今日は太田市新田商工会発足式にお招きいただき、大変有難うございました。文化・歴史の違う三つの町が一緒になって仲良くやっていくということは大変なご苦労があったのではないかと推測するわけですが、すばらしい形でスタートできました。本当におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

武井会長さんを中心に決意表明を聞かせていただいたわけですが、すばらしい形でスタートされたので、これからはしっかりとやっていただきたいと思います。久米会長からもありましたように、商工会と商工会議所は頭の経済産業省は同じでもまったく違う形の管理下にあります。今までもそうですが、三町の会長さんと事務局長さんと話し合いをしながら、不可侵条約というような形でお互い助け合いながらうまくやってきましたので、三商工会が合併できたことは心から大変喜ばしく思います。県下第二位の商工会が出来上がったこと大きくなることは、経済団体ですのでいいことが多いです。

商工会議所も商工会も同じ目的で街おこしが第一番で、それと同時に小規模事業者支援が大きな仕事です。景気をみると65ヶ月の史上最高の好景気の中にあるわけですが、大企業と中小企業の格差、大都市と小さな町や職業による格差は広がっています。中小規模企業者はこの好景気を享受していません。今

はいい企業が3割、ダメな企業が4割、まあまあな企業が3割あると言われていています。こちらの商工会はいい部類に入っていると思います。

本日は久米会長と一緒に日銀の支店長の話聞いてきました。群馬県はすぐれた地位にあり、いい状況下にあります。県民の収入・所得は大幅にアップしています。また正社員の人数は、パート社員が大幅に少なくなり、その分大幅に増えています。工場立地件数は昨年全国2位の111件、面積は全国3位の124haでした。我々もこの好循環の波に乗りしっかりとやっていく、そのためには情報交換を緊密にすることです。会議所に比べて商工会さんの方がより多くの厚い形の施策が講じられているので、武井会長と仲良く知恵を出し合い、よい関係を築くことが大切です。新井顧問には、三町合併をまとめるにあたり大変お疲れ様でした。

武井会長を中心に新商工会がはるかにはるかに大きくなっていただくことをご祈念申し上げます。太田市では、大学が誘致でき医療機関も進捗し、住宅も1,800戸増えるという前向きな話が多い中で、太田市新田商工会と太田商工会議所は助け合って協調しながらやっていきたいと思ひます。ますますこの商工会が発展することをご祈念申し上げ、お祝いのごあいさつとさせていただきます。



北澤太田市産業経済部長

発足祝賀会来賓祝辞
 東部地区商工会連絡協議会長 川野辺 金吾 様



ただいまご紹介いただきました東部地区商工会連絡協議会長の川野辺でございます。本日は総代会、その後の懇親会にご案内いただき、大勢の皆様のご出席の中、このお祝いが盛大に行われますことについて心から深くお祝い申し上げる次第です。現在の商工会を取り巻く環境については、山積された問題が大変多い中、東部地区は八つの商工会から六つの商工会で運営されることになりました。

館林・邑楽地区での商工会合併については、今回三つの商工会が一つになって太田市新田商工会が誕生したことを契機に、力強く合併を推進していかなければいけません。国の政策も三位一体の改革により、我々の広域の組織も多事多難な問題を抱えております。これからは組織の力を結束することによって十分技能を発揮できるので、武井会長の先程の力強いあいさつにより心強く感じました。

合併の経緯についてご指導していただきながら、我々も合併に取り組まなければいけないと感じています。群馬県商工会連合会と太田市新田商工会がリーダーシップを取っていただき、県内四十八の商工会にまとまりを持たせて数を少なくし、地域の活性化をはかり、会員数の減少、後継者不足、補助金の減額の課題に、経費の削減などにより対応する必要があります。地域の活性化は中小企業が元気になることが基本です。我々の経験と努力とさらに合併を契機として、会員によりよい指導、よりよい相談相手になれることを目指していきます。太田市新田商工会の限りないご発展とご臨席の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます、大変そつな挨拶ですが、ご祝辞に代えさせていただきます。



発足祝賀会来賓の方紹介



乾杯準備



懇親会場風景

新役員が選任されました。任期は平成21年5月31日までです。よろしくお願いします。

| 役職 | 氏名 | 事業所名 | 住所 |
|-----------|--------|----------------|---------------|
| 会長 | 武井 善作 | 武井漬物製造(株) | 六千石町 48 |
| 副会長 | 相澤 進 | 相沢鉄工(株) | 出塚町 132-1 |
| 副会長 | 小暮 一三 | 小暮建設(株) | 新田反町町725-1 |
| 理事(筆頭) | 白石 昌一 | (株)白石建設 | 大原町 108 |
| 理事(次席) | 村岡 登 | (有)ムラオカ | 新田木崎町369-21 |
| 理事(次席) | 今井 勇 | 東武振興(株) | 藪塚町386 |
| 理事(次席) | 柿沼 洋康 | (株)ミヨシ | 堀口町 164 |
| 理事(商業部会長) | 木村 岑生 | (有)なかや | 新田木崎町524-4 |
| 理事(建設部会長) | 高藤 幸偉 | (株)高藤建設 | 大原町 40 |
| 理事(工業部会長) | 竹澤 宏幸 | (株)新栄カーブ | 新田金井町127 |
| 理事 | 石井 安雄 | (有)イシイ建業 | 新田上田中町222 |
| 理事 | 岩崎 次夫 | 岩崎保険事務所 | 大原町536-30 |
| 理事 | 内村 光吉 | (有)内村機工 | 新田中江田町1003-18 |
| 理事 | 江森 義一 | 理容 エモリ | 新田木崎町793 |
| 理事 | 大澤 巖生 | 大澤建設(株) | 尾島町 385 |
| 理事 | 荻野 一雄 | 荻野縫製(株) | 大原町381-16 |
| 理事 | 荻原 泉 | (株)森永新田 | 新田村田町320-1 |
| 理事 | 落合 正博 | (有)落合石材工業 | 藪塚町1990-1 |
| 理事 | 加川 正孝 | 忠 治 庵 | 藪塚町2918-6 |
| 理事 | 梶塚 太郎 | (有)梶塚商店 | 新田木崎町981 |
| 理事 | 狩野 順治 | (株)叶食品 | 藪塚町 2206 |
| 理事 | 亀井 登 | 亀井工業(株) | 新田下田中町102-2 |
| 理事 | 木村 昭善 | 新田電設(株) | 新田大根町998-19 |
| 理事 | 権田 博良 | (有)権田金物店 | 尾島町 10-1 |
| 理事 | 杉山 久一 | ベスト資材(株) | 新田小金井町329 |
| 理事 | 鈴木 和己 | (有)鈴木プラスチック | 新田反町町 57 |
| 理事 | 鈴木 浩和 | ファッションハウス すずまん | 尾島町 511-2 |
| 理事 | 竹内 公一郎 | (有)秩父屋 | 尾島町 83 |
| 理事 | 丹波 計人 | (株)丹 波 | 藪塚町1400-2 |
| 理事 | 福田 大健 | 櫻金属工業(株) | 世良田町3038-1 |
| 理事 | 吉田 正司 | 吉田建設(株) | 大原町 148 |
| 理事(女性部長) | 加藤 二三江 | 加藤建設興業(株) | 大原町 651 |
| 理事(青年部長) | 高澤 安正 | (有)高澤畳店 | 大原町 652 |
| 監事 | 小倉 一男 | (有)小倉百貨店 | 新田木崎町1003 |
| 監事 | 茂木 一治 | スライブ電気工業(株) | 世良田町 1255 |
| 顧問 | 新井 洋 | (株)新洋工業 | 新田木崎町1046 |

青年部地域貢献活動「商工会の日記念事業」



太田市新田商工会青年部では、活動方針の一つである「子供に託せる住みよい町づくり」を目指す考えで、今年度の『商工会の日』の事業として去る平成十九年六月十一日(月)に太田市の尾島地区、新田地区、藪塚地区の各小学校に花のプランター・サッカーボール・ドッチボールを贈らせていただきました。新しいボールに子供達は大変喜んでいらっしゃる様子でした。今後も皆様のご協力により続けていけたらと思います。

商工会青年部総務委員会
委員長 宗村 健司

お知らせ

◆産業環境フェスタバル

出店者の募集

太田市では昨年同様に産業環境フェスタバルを開催します。現在決定している内容は左記のとおりです。出店をお考えの方は、太田市新田商工会本所へご連絡をお願い申し上げます。ご連絡いただいた方には、詳しい内容が決まり次第、お知らせいたします。

TEL0276-573535
担当成田・松嶋まで)

記

□期日 十一月十一日(日)

□場所 太田市新田陸上

競技場

□費用 原則無料(テント・机は主催者側で用意いたします。)

| | |
|---|---|
| ◇発行所 太田市新田商工会 〒370-0341 太田市新田金井町607 TEL0276-57-3535 FAX0276-57-3536 URL: http://www.nittashoko.or.jp | ◇発行者 会長 武井 善作 ◇印刷所 株式会社三菱電機ドキュメンテクス ◇発行日 平成19年7月31日 e-mail: gnitta@nittashoko.or.jp |
|---|---|

編集後記

お蔭様で3商工会の合併ができ、設立総代会も5月30日、ホテルプラザニッタにて関係諸団体の来賓者、諸代表者をお迎えし盛大に開催することができました。

そして記念誌の発行について広報委員、職員が編集を分担し、又関係する皆様のご協力を戴きこの度の会報創刊号を発行することができました。心より感謝申し上げます。

この10年間東毛地区においては、平成の改革が起き、新「太田市」「みどり市」が誕生しました。一方経済環境にも産業構造の変化や金融改革など大きな波乱の時代を経験し、いまやっとなかなか試練を乗り越えた感があります。とはいえ、中小零細企業においてはまだまだ厳しい環境といえます。

また、地域では、待望の北関東自動車道等の建設も順調に進み開通が待たれており経済環境の変貌が期待されております。

これからの3商工会に期待するものは大きいものが在り、これからの商工会活動に活かし商工会員の目指すよき経営者として、自己の研鑽に努め、地域社会に貢献できるよう努力を重ねてまいりたいと存じます。

皆様方にご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

広報委員長 柿沼 洋康